

古高松地区コミュニティ協議会 広報誌

地域ゆめづくり事業(2~3面)
文化祭案内(7面)



清涼感を呼ぶゴーヤ、キュウリの緑のカーテン(円内はゴーヤの実)

光陰矢のごとし

―会長就任に当たって―



古高松地区コミュニティ協議会

会長 村井 浩 治

今年の夏は、例年になく酷暑でありましたが、地域の皆様にはそれぞれの分野でご活躍され、誠に心強い限りであります。

さて、平成二十二年は、高松市制百二十年という記念すべき年となり、十月四日にはサンポート高松で記念式典が挙行されます。心からお喜び申し上げます。

また、当古高松地区でも高松市合併(昭和十五年)から七十周年。古高松自治会が発足五十周年という節目を迎えました。私たちの地区は、高松発祥の地として「古高松」の地名で歴史を刻んでおります。連合自治会では、発足五十周年を記念して古高松地区の地図を作製し、年度内に各会員ご家庭に配布の予定で、鋭意作業を進行中であります。必ず地域の皆様のニーズに応えられる貴重な資料として、ご利用いただけるものと確信しております。

「光陰矢のごとし」といいます。あの太平洋戦争終結から六十五年の歳月が過ぎていきました。戦争を知らない方々もすでに定年を過ぎ、高齢化社会の一員となっており、私を含め昭和・一桁時代は、少年・青春時代を常に質素儉約で育ちました。時は移り後期高齢者の仲間入りをした現在、常識的な考えが常識でなくなり、消費が美徳となり、当たり前のことが当たり前でなくなり、いまさらながら世の移り変わりに驚くばかりであります。

今、ものの豊かさより心の豊かな人間を育てるために、市民主体のまちづくり、自己決定、自己責任に基づいた「私たちのまちは私たちの手で」という自治運営が求められています。そのための高松市自治基本条例も制定されました。地域の特性を活かし、次の世代のために絆を深め、努力してまいります。皆様方のご協力をお願い申し上げます。

JR屋島駅活性化事業 高松市ゆめづくり提案事業に採択

平成二十二年度高松市地域ゆめづくり提案事業の公開審査会が、六月二十六日、牟礼町の牟礼公民館大ホールで開かれました。

地域コミュニティが地域の課題に自主的、主体的に取り組む機会を創出することにより、組織のさらなる活性化、基盤強化を図るのがねらい。市内の十四地区コミュニティ協議会からそれぞれの事業について、代表者から発表がありました。古高松地区コミュニティ協議会は、地域活性化部会が取り組み中の「JR屋島駅活性化事業」について、岡 春男副会長がプレゼンテーションしました。

各事業について香川大生涯教育研究センター長 清國 祐二氏、高松市市民政策部長 松本 健吉氏ら四人の審査員が審査し、古高松地区の「JR屋島駅活性化事業」など十事業の採択が決まりました。採択事業には三年間で百二十万円までの補助金が交付されます。

「JR屋島駅活性化事業」についてのプレゼンテーション（要旨）は次の通り。

【取り組みの経過】

JR四国から「屋島駅の管理を地域で出来ないか」との提案を受け、活動の核となる地域活性化部会を平成二十年十二月に設置。その後観光振興スペース、地域振興スペースが開設され、地域のJR駅として再生された。

【以降の取り組み実績】

① 観光振興スペースに観光ボランティアガイドが土・日・祝日の午前十時から午後三時まで常駐し、これまで約三千名に観光情報を提供。最近、海外からの観光客も多い。また駅からウオークを六回開催、毎週土曜日はハイキングなどのイベントを行った。

② 地域振興スペースに児童、生徒の作品、コミュニティセンター同好会等の作品を一ヶ月毎に交換展示し、乗客、地域の方々から大変喜ばれ、ギャラリーとしての賑わいを醸し出しています。

③ 駅の券売業務などを受託し、対面

できつぷが買える安心感、楽しい会話や展示作品の鑑賞などスペースのサロン化の効果も生まれています。

④ 駅周辺の清掃や駐輪場の自転車の整理。

以上から具体的な効果として①訪れた観光客からも感謝されている②殺風景だった駅が明るく、感じが良くなったと帰省客や地元住民から喜ばれている③駅を訪れる人が増えたことがあげられます。これは、「お接待の心」を持つておもてなしが出来るようになったことや、JR屋島駅が「愛着のある駅」として蘇りつつあると思っています。

【今後の事業方針】

① JR屋島駅活性化事業の知名度の向上
② 地域の人々の年間を通じた参画
③ JR屋島駅周辺の活性化
④ 観光地屋島の復活

【ゆめづくり提案事業で

取り組む内容と目標】

① ギャラリーの展示を継続的に。コミュニティセンター同好会作品展の充実、一般の展示作品の募集、周辺コミュニティへの働きかけで広域の作品発表の場とし、人々の交流の輪を広げます。



発表する岡副会長（演台）と応援出演の「ポンタ」

② 地域住民をも含め駅周辺の花いっぱい運動を展開。
③ 駅前にある古井戸をガチャガチャポンプで復活。
井戸端会議の復活と、水を大切に
する気持ちの醸成、子や孫に対する
昔の生活と知恵を伝承します。
④ 駅前広場でのクリスマス・イルミ
ネーションやコンサート開催。
人との交流の機会が増加し、駅周
辺への地域の人々が集まるきつ
かけを作ります。また、世代間交流
の促進、夜間の防犯対策になりま
す。

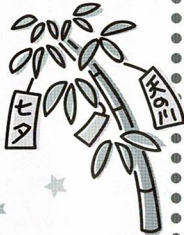
JR屋島駅前つくし幼稚園による たなばた飾り開催



平成22年7月1日(木) つくし幼稚園、園児による七夕の飾りのイベントを行いました。

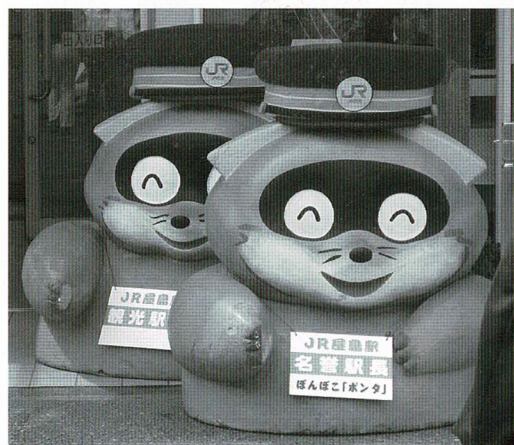
みんなの願いを書いた短冊や織姫や彦星の絵のプレートなどを盛りあげ隊のメンバーとともに飾り付けました。

皆さんが健康で居られますことを短冊に託しました。



幼稚園児による七夕飾り

⑤ JR屋島駅活性化のシンボルマークの公募。
⑥ 「善意の傘」の提供。
⑦ 「ぼんぼこポインタ」 「ぼんぼこポインタ」のキャラクター入りはつびの作成。
以上のような事業方針に沿ってこれからも地域の方々力を一つにして、地域活性化のためのゆめづくり事業に向けて頑張ります。



「ポインタ」

JR屋島駅地域振興スペースから

JR屋島駅活性化事業のグランドオープンセレモニーから約1年が過ぎました。

振興スペースでは様々な作品が展示したり、駅の前では『駅からウォーク』の参加者に甘酒やぜんざいの接待をしたりしました。古高松地区協議会地域活性化部会とJR屋島駅盛りあげ隊のメンバーを中心に、駅舎内のスペースを活用して、屋島の魅力の発信や地域のコミュニケーションの拠点づくりを展開しています。

引き続き、券売業務も行っていますのでご利用ください。

■営業／ 7時～11時半 14時～18時 毎週水曜日は定休日



3月13日のぜんざい接待から



8月の書や生け花の展示から

平成22年度定期総会開く

平成二十二年度役員

古高松地区コミュニティ協議会

会長	村井 浩治		
副会長	岡 春男、池内 静雄		
	加藤 多美子		
理事	中條 文雄、藤本 豊		
	加藤 豊、水野 博文		
	前田 峻司、林 茂子		
	塚原 久、植村 芳弘		
	間島 貴子、村井 久子		
監事	石塚 栄		
事務局	植松 茂、川田 崇広		
	一二三 清、青木 周作		
	伊井 智子		

古高松コミュニティセンター 管理運営委員会

委員長	村井 浩治		
副委員長	岡 春男		
委員	佐々木ナミエ、藤本 豊		
	佐々木勝英、小西久美子		
	坂下 且人、林 茂子		
	山根 浩、長町 隆司		
	中條 文雄		

古高松コミュニティセンター 職員選考委員会

委員長	村井 浩治		
委員	石塚 栄、川田 通		
	加藤 直之、間島 貴子		

新会長に村井浩治氏選出

古高松地区コミュニティ協議会の平成二十二年度定期総会が、五月十五日、古高松コミュニティセンター大ホールで開かれました。

総会には、各構成団体の代表者はじめ来賓らが出席。はじめに全員で「高松市民のねがい」を朗読、各上程議案を審議しました。その結果、①平成二十一年度事業報告・決算報告・監査報告②平成二十二年度事業計画案・予算案③組織図の一部改正案④役員任期を二年とする会則等の一部改正案など各議案を、それぞれ満場一致で原案通り承認しました。役員改選では新会長に村井浩治氏（連合自治会長）を選出しました。

- 平成二十二年度事業計画
- 一、コミュニティプランに基づく事業の推進
 - ①明日へのまちづくり（企画・広報部会）
 - ②健やかに育つふれあいのまちづくり（文化・生涯学習部会）
 - ③支え合う安心なまちづくり（健康・福祉部会）
 - ④清潔で安全なまちづくり（環境・安全部会）
 - ⑤地域活性化のまちづくり（地域活性化部会）
 - 二、ふれあいまつり（旧高松城まつり）を開催
 - 三、部会の定例化（全部会）

EM泥だんご投げ大会 アサザの里・久米池で水質浄化大作戦

県指定希少野生生物アサザの県内唯一の自生地・久米池で7月19日、水質浄化の一環としてEM（有用微生物群）泥だんご投げ大会が開かれました。

浄化作戦は、久米池水利組合を中心に小中学校、幼稚園、保育所、障害者施設など関係団体や地域が力をあわせて7年前から取り組み、成果を上げています。

この日は、360人が参加し、2万個余りのだんごを池に投げ入れたほか、泥だんごづくりの体験などもありました。

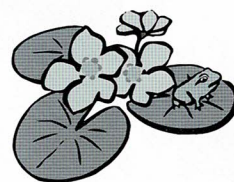


掛け声と共にだんごを投げ入れる参加者

■EMについての問い合わせは…

香川EM普及協会
・春日保育園前園長

野町 文枝さん
(080-3927-7750) まで

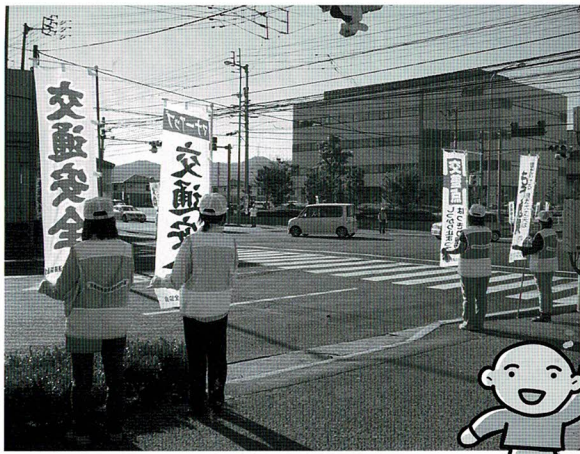


トピックス活動報告から

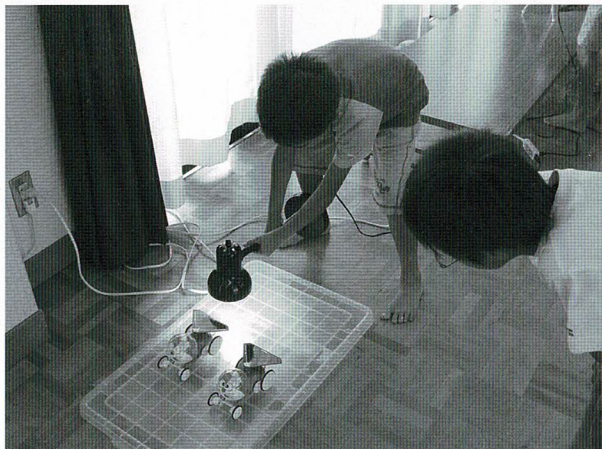
交通死亡事故撲滅へ

街頭キャンペーン

高松地区での交通死亡事故多発警報の発令を受け、八月六日午前七時半から春日町の四国コカコーラ前交差点で交通死亡事故ゼロを目指して街頭キャンペーンを行いました。環境安全部会を中心に約五十人が参加し、黄色のユニホーム姿で「交通安全 スピード落とせ」などののぼりや横断幕を掲げ、出勤中の車や自転車の学生らに事故ゼロを訴えました。



死亡事故ゼロを願って…



発電実験も体験

わくわく子ども実験室

「電気はどこからくるの？」

「三十三円電池を

つくってみよう！」



八月三日、古高松南コミュニティセンターホールで「わくわく子ども実験室」を開催しました。四国電力の協力で、地球温暖化の問題や省エネの勉強、発電実験を体験しました。

健康づくり標語決定

古高松地区保健委員会では四月十六日の総会で二十二年度の健康づくり標語を発表しました。昨年度の終わりに募集した健康づくり標語には多数の応募がありました。保健委員さんによる投票の結果、次の作品が選ばれました。

一般の部

★優秀賞★

◎無理しない 早寝早起き 深呼吸

★佳作★

◎ウォーキング 無理せず

毎日 マイペース

◎健康は 日々の努力の 積み重ね

◎長寿として 元気な心身

あつてこそ

小学生の部

◎健康は 早寝早起き 朝ごはん

◎朝ごはん いっぱい食べて

元気な子



この漢字の読み方はー

寸劇でみんなも参加!



五月七日、古高松高齢者教室で、開講式・交通安全教室を開催しました。

講話の後は、交通安全指導員の皆さんの寸劇(免許証返納適齢期)を観て、脳トレのゲーム、最後は体操をしました。楽しく学べて大変わかりやすい内容でした。



一緒に元気体操

旧高松城 まつり開催 猛暑を吹っ飛ばせ!!



真夏のふるさとを彩る平成22年度古高松地区地域ふれあい交流事業「旧(ふる)高松城まつり」(第13回)が、7月25日(日)午後4時から古高松中学校運動場で開かれ、賑わいました。

特別出演の阿波踊り「いろは連」、国分寺太鼓、ジャズ演奏のSWJOはじめ、地域の園児、児童らが合唱や吹奏楽などを熱演し、盛んな声援を受けました。カラオケのど自慢には20組が参加、自慢ののどを競いました。また、テント村のバザーコーナーも大賑わいで、まつりを盛り上げていました。



軽快なリズムの阿波踊り。観客も参加して踊らな損々



古高松小吹奏楽部の楽しい演奏



恒例の福投げ“福”を求めて熱い争奪戦



素人カラオケのど自慢“ママさんグループ”も声援を受けて熱演



初出演の古高松校区子ども会育成連、元気な歌とパフォーマンスに大きい拍手



園歌と元気体操を元気いっぱい披露の春日幼稚園児たち

22年度地区文化祭ガイド

■古高松南コミセン … 10月22日(金)、23日(土)、24日(日)

10月22日 (金)	作品展示
	茶道教室お茶接待 (春日幼稚園・新田幼稚園園児ご招待)
10月23日 (土)	作品展示
	講演会 香川ヨーガ道友会会長 倉本英雄氏 茶道教室お茶接待(一般の方)
10月24日 (日)	学習発表会

■古高松コミセン … 10月29日(金)、30日(土)、31日(日)

10月29日 (金)	作品展示
	保健師・保健委員会による健康相談 フリーマーケット(募集は10月1日から)
10月30日 (土)	作品展示
	講演会 高松医療センター病院長 水重克文氏 無料、どなたでも視聴できます
10月31日 (日)	学習発表会
	バザー(うどん、ちらしずし、ぜんざい) 前売券は10月1日から販売します

皆様こんにちは。さわやかヨーガです。毎週月曜日午後三時十五分〜同四時四十五分の一時間半、のんびり楽しく活動しています。

ヨーガ体操は、ゆつくりとした呼吸に合わせて、体を伸ばし緩めていくのが目的です。初心者でも高齢者でも、運動が苦手な人でも各人マイペースに楽しめます。現在、八十一歳のベテラン会員さんから若いママさんまで、皆で和気あいあいと活動しています。

同好会あれこれ

古高松コミュニティセンター
「さわやかヨーガ同好会」

中 村 京 子

現代社会は、何かと緊張を強いられることが多いですが、ヨーガを実践することで自然にリラックスすることが出来ます。姿勢を意識することで、軽い肩こりや腰痛を和らげる効果もあります。

難しく考えないで、気軽に体を動かしてみたい方、是非一度、体験してみてください。動きやすい服装であれば、他には何も必要ありません。

会員一同お待ちしております。



清水さんが最高賞に

—日本はがき芸術作家展—



古高松コミュニティセンター同好会の描き絵講師で、本誌連載「ふるさと点描」で健筆をふるっているのはがき芸術作家清水純一さんの作品が、第十六回日本はがき芸術作家展(日本はがき芸術作家文化会主催)で、最高賞の日本はがき芸術作家大賞に輝きました。上の絵。

また、古高松はがき絵同好会の嶋本積生さんの作品が、群馬県教育文化事業団会長賞に選ばれたダブル快挙となりました。

同展は、プロ、アマチュアを問わず公募したもので、全国から三〇一点の出展品がありました。清水さんの作品は、三年ほど前インドとフランスに旅した際の風景画を応募しました。

なお、展覧会は安中市の妙義山麓美術館で七月十七日から九月六日まで開催、十月二十二日から十一月二十八日まで韓国ソウル市でも開かれるとのことです。

春日地区女性防火クラブ総会



春日地区女性防火クラブ 結成10周年!!

6月20日、古高松南コミュニティセンターで春日地区女性防火クラブ総会が開催されました。結成10周年となりました。これからも地域のリーダーとして活躍が期待されます。尚、名称が婦人防火から女性防火に変わり、地区内の女性防火クラブ員が共に法被の襟の付替えを行いました。

ふるさと点描

奥ノ坊付近 (高松町)



南と北側の高台に住宅団地が広がる。東方の山麓では高松市東部運動公園の整備が急ピッチです。見下ろす先には市街地や瀬戸内海が遠望できます。

古墳群からみて、この地域に古墳時代からの文化圏が形成されていたといわれ、仏教が隆盛した平安朝時代には、真行寺、土谷寺、奥ノ坊の三寺院がありました。いずれも廃寺で、由緒や荒廃の年月は不明ですが、「奥ノ坊」が地名として残っています。

地域の南方を県道高松志度線が通り、鳥坂峠を経て隣の牟礼町へ。堀江からの旧道もあり、峠の近くには四国遍路の道しるべ・石仏道標を兼ねた地藏堂があります。

市民期待の東部運動公園は、すでに一部供用を開始し、現在、野球広場、スポーツ広場の整備中。平成25年度には全面オープンし、新たなスポーツ文化の拠点となります。

(絵・清水 純一)

古高松地区 音楽の競演

タぐれコンサート
in みなみ

8月7日、古高松南小学校でタぐれコンサートを開催しました。

木管五重奏やサキソフォンアンサンブルの生演奏は素晴らしいものでした。また、小学校合唱部の『ビリーブ』や『翼をください』はさわやかな歌声を聴かせてくれて、親子での楽しい夕べとなりました。



9月15日、古高松コミュニティセンターホールで月見コンサートを開催しました。

ろうそくの明かりの中、秋の夜をソプラノの歌声が美しく、魅了されました。



また当日は地区の女性ボランティアの皆さんが手づくりのおはぎを作っていました。ありがとうございました。

月見コンサート



古高松小学校バザーのご案内

十一月七日(日)午前十一時
五十分から古高松小学校体育館
でバザーを開催します。
フリーマーケットと食バザー
のほか、吹奏楽部の演奏も予定
しています。食バザーでは揚げ

たこ・フライドポテト・うどん
・おにぎり・すし・チョコバナ
ナ・カレー・喫茶コーナーなど
があります。お楽しみに！
皆様のお越しをお
待ちしております。



編集後記

炎暑の今夏、古高松コミセ
ンの庭で、ゴーヤ、キュウリ
の緑のカーテンが見事に茂り、
来館者を癒していました。実
のプレゼントも好評で、一挙
両得のエコ効果。管理、手入
れ担当者のご苦勞に感謝です。
一面の写真参照。(C)